2023-2024 年度　ROTARY　CLUB　OF　TOYOKAWA　HOI CLUB　WEEKLY

世界に希望を生み出そう

やらまいか

クラブテーマ：スマイルロータリー、新時代へ進化

会長／太田　稔　幹事／池田　弘　会報委員会／乙部享祐・杉浦和人・原田浩史
例会場／毎週火曜日 12：30　豊川商工会議所　　事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内
℡0533-86-2535　Fax0533-86-8889　HP：http://toyokawahoi.tank.jp/

本年度第２３回　通算１７４４回 ２０２４年２月６日（火）	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	1/23 修正出席率
		７２名	４１名	６３．１％	８７．３％

ゲスト：（なし）　ビジター：（なし）

★会長あいさつ　　太田稔会長

皆さんこんにちは。昨日の夜から関東の方では大雪が降ったということで、混雑して仕事がお休みになったところもあるようです。2月頃は、この辺りも雪が降ったりしますが、降らなくて良かったです。

2 月 3 日に笠原さんのはくよ庵がリニューアルオープンしました。皆さん是非ご活用していただければと思います。鈴木忍さんの大谷神社さんの記事が新聞に載っていました。守公神社の神仏再習合の祭事が 60 年に一度ということだそうです。

今日は舘山さんの新会員スピーチです。保険屋さんなので能登半島地震の対応が大変だと聞いています。どのようなお話をされるのか楽しみにしています。

★幹事報告　　池田弘幹事

例会臨時変更のお知らせ
東三河分区ゴルフ大会のお知らせ

★委員会報告

雑誌広報委員会　近藤利行委員長
　ロータリーの友２月号の紹介
次年度理事会　石黒貴也次年度幹事
　第２回次年度理事役員会開催について
クラブ奉仕委員会　土井昌司委員長
　会報の配布・配信方法について
TASC　夏目雅康副会長
　3 月 17 日走りん祭イベントの協賛金のお願い

★新会員スピーチ

みなさん、こんにちは。昨年 6 月に入会させていただいた舘山です。本日は新会員スピーチの機会をいただき、誠に有難うございます。

本日は主に私の自己紹介と仕事について２つの内容で話をさせていただきます。

まずは自己紹介させていただきます。舘山紘介です。舘山というのはこの辺りではあまり見慣れない

苗字だと思いますが、東北地方に多い苗字のようです。続いて経歴となりますが、1981 年に福岡県で生まれ、今年の 5 月で 43 歳となります。小学校入学前に東京へ引越し、それから大学まで東京で過ごしました。2004 年に損害保険会社の東京海上火災保険に入社、これまで広島、東京、高松、熊本で勤務し、昨年 4 月に豊橋に参りました。入社して 20 年が経過しようとしておりますが、これまで全て営業部門に所属しており、半分は今所属している豊橋支社と同じような、主に個人、中堅・中小企業のお客様を中心に担当する部署、半分は上場企業を中心に担当する部署のイメージです。自宅は神奈川県横浜市青葉区にあり、現在単身赴任中です。家族は妻、息子 2 人の 4 人家族です。趣味としておりますが、全国転勤のため初めて行く土地・文化に触れる機会が多く自然とその土地を知りたくなります。転勤していると「どこが一番良かった？」と聞かれることが多いのですが、その時々で自身のライフスタイルが異なっていること、住めば都と言うように各地それぞれに素晴らしい点がありましたので甲乙つけがたいというのが本音です。その土地だけではなく出会った人々、周辺を含めた観光で新たな発見をできることは大変刺激的です。食事に関しては好き嫌いがないため、広島ではお好み焼きや牡蠣、高松ではうどんや骨付鳥、熊本では馬肉や天草の海鮮と各地で多くの美味しい食材､料理と出会うことができました。その地方に住んでいたからこその出会いが人生においても至福の喜びとなり、これぞ地方勤務の醍醐味であったと思っております。また、スポーツ観戦も趣味で、赴任地のチームを応援してきました。先日クラブで応援に行きましたが、ここでは何と言っても三遠ネオフェニックスです。目下連勝街道を突き進んでおり絶好調ですので再度観戦に行きたいと考えております。もちろん自ら体を動かすことも好きですので、ゴルフなど皆様とご一緒できればと思います。これから更に皆様と懇親を深めさせていただき、クラブライフ、この土地を満喫したいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

続いて、仕事について話をさせていただきます。勤務しているのは東京海上日動火災保険株式会社という損害保険会社です。弊社は東京海上グループに属しており、東京海上グループでは保険を中心に多くの事業を展開しております。

少し歴史をお話ししますと、前身の東京海上保険会社の創業は 1879 年で日本初の保険会社として設立されました。設立当時の株主には岩崎弥太郎以下三菱関係者や渋沢栄一がおりました。社名に海上とついている通り、当初は海運、貿易業のための保険でスタートした会社となります。その後 1914 年に日本で初めて自動車保険の営業を開始し、海上から陸上まで幅広い種目を扱う損害保険会社となりました。自動車産業の発展と共に自動車保険の件数は伸び、昨年度実績ですが自動車保険契約件数は約 1463 万件となっております。

また、事業をグローバルに展開しており 46 の国と地域に海外拠点を持ち、保険以外の事業を含めたグループ従業員数は約 41,000 名です。

グループとして目指す姿は「拡大するお客様や社会の課題／リスクに対して、最適な「保険」商品を提供し、お客様や社会の“いざ”を支えているだけでなく､「保険の事前事後領域｣や｢ウェルビーイング」に貢献する「ソリューション」を提供し、“いつも”を支えていることをめざす」というものです。

そして、東京海上日動としての経営理念は「お客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき､｢安心と安全」の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献します」と掲げております。

今申し上げました通り、保険がコア事業ではあるものの、最近は保険以外にも注力しております。一つ例を紹介させていただくと、昨年リリースした「ウェルビーイングナビ」というものがあります。事業者向けにはなりますが、各事業所で働く従業員の皆様がいきいきと働く職場作りをご支援し、労働生産性の向上、人材定着につなげていただくものです。

本日は時間の関係で詳細省略させていただきますが、労働人口が減少する中、従業員やご家族の心身の健康こそが企業の競争力を高める重要課題と位置づけ、課題の見える化から解決までサポートさせていただきたいとの思いで展開しております。

先程｢お客様の“いざ”｣という言葉を使いましたが、これがどの様な場面かと申し上げますと、例えば現在進行形で対応にあたっている能登半島地震などが挙げられます。この様な災害が発生すると我々の存在意義（近年ではパーパスと呼んでおりますが）を再認識するのですが、損害保険会社として自然災害対応を行う意義は、被災者の方々が災害から早く立ち直ることを支援し、安心・安全な生活を取り戻すためだと考えております。自然災害、中でも地震は突然発生するため、被災者の方々は家屋や財産を失ったり生活環境が一変するなど、大きな困難に直面するため、早急な支援が求められます。発生した事象に対してスピーディーな対応を行う、即ち早期に

保険金をお支払いすることが必要です。早期に保険金をお支払いすることで、早期に生活を再建するための支援ができるものと考えております。一方で、この様な広域災害が発生すると聞こえてくるのが、「思っていた補償内容と違っていた」「保険金が支払われないことに納得ができない」というお客様の声です。目の前で一瞬にして生活が変わってしまった方々の心情を考えるとお救いすることができないことは大変悔しくてなりません。保険の力で一人でも多くの方をお救いできるよう、我々は代理店さんを通じて皆様に商品を提供しておりますが、今回、我々の組織からも現地へ応援で派遣された者によりますと、地震保険はご加入いただいているものの、建物だけが対象となっており家財が対象外というケースが多かったと聞いております。皆様はしっかり手配されているものと思いますが、当地では以前より南海トラフ地震発生の可能性が指摘されていることもあり、この機会に是非ご自身、会社でご加入いただている保険の内容を確認いただき認識している補償内容となっているのかを検証してみてはいかがでしょうか。

最後になりますが、この度の震災で被災された方々、地域が一日でも早く平穏な生活を取り戻すことができるよう弊社一丸となって取組むとともに、南海トラフ地震の可能性が長らく取りざたされているこの地において、“いざ”をお支えすることができるような存在として職務を全うしたいと考えております。引続き皆様にご指導、ご鞭撻をいただけますと幸甚です。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

加藤雅美会員　誕生日を祝って頂き
岩瀬靖宏会員　結婚記念日を祝って頂き
土井昌司会員　〃
山本章吾会員　〃
高桑　耐会員　〃
柴田浩志会員　誕生日と入会を祝って頂き
柴田陽一会員　入会記念日を祝って頂き
度会秀子会員　〃
池田　弘会員　〃
石黒貴也会員　〃
井指和昭会員　事業所と入会を祝って頂き
大沢茂樹会員　フェニックスが絶好調です
笠原盛泰会員　はくよ庵オープンしました
金田柾宏会員　喜寿と金婚式のお祝いの御礼
早川喬俊会員　所用にて途中退席します

★地区会議の報告

2 月 8 日に地区ロータリー財団セミナーが名古屋で開催されました。
今年度の補助金を活用された事業が 66 クラブで行われ、その中の 3 クラブの活動の紹介がありました。その中の 1 クラブとして、当クラブの信号機寄贈の事業が紹介されました。

会報担当：乙部享祐・杉浦和人・原田浩史